

薬剤管理指導実施率

●説明

薬剤管理指導業務とは、入院患者さんへの服薬指導、服薬支援その他の薬学的管理を行うことで、患者さんの薬物療法に対する理解を深め、また患者さんから得られた情報を医療スタッフ間で共有することによって、安心かつ安全で効果的な薬物療法を支援する業務です。患者さん1人につき週1回の保険算定ができますが、業務の質の指標としては薬剤管理指導率が重要です。

●計算式

$$QI = \frac{\text{薬剤管理指導料を算定した患者数}}{\text{退院患者数}} \times 100$$

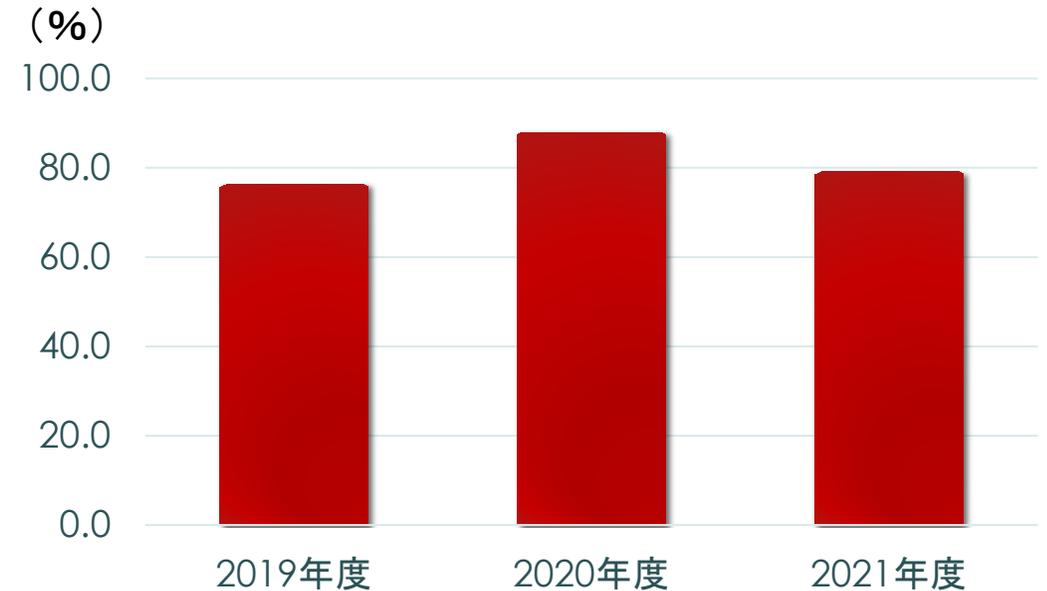
●目標

当院では20年以上前から入院患者さんやその家族の方への薬剤管理指導を行っています。薬剤管理指導算定件数は年間2万5千件を超えており、2021年度は全国国立大学病院42大学の中で第5位でした。薬剤管理指導実施率については、80%の実施率を目指します。

●計画

薬剤管理指導算定件数を維持するとともに、全ての入院患者さんに入院中に少なくとも1回は薬剤師が指導できるよう努力いたします。

●実績



●評価

全国国立大学病院のデータを基に計算した薬剤管理指導実施率の中央値（四分位範囲）は2020年度49.3% (36.0-75.0%)、2021年度50.3% (36.9-77.6%)となっています。当院ではいずれの年度も第3四分位数を超える高い実施率になっています。